

救急車は本当に必要な時に利用しましょう

貴い生命を救うためには救急車の適正利用が必要です。本当に必要なとき、利用できるでしょうか？

救急出動件数は年々増加しています

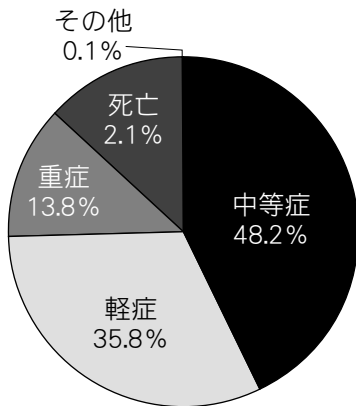
全国の救急車による救急出動件数は年々増加し、平成19年は529万236件と過去最高となりました。

鳥取県西部広域管内の平成20年中の救急出動件数は8439件(前年比3.5%減)、搬送人数は7974人(前年比3.8%減)でともに2年連続の減少となりました。このうち、軽症者の割合は35.8%となっています。

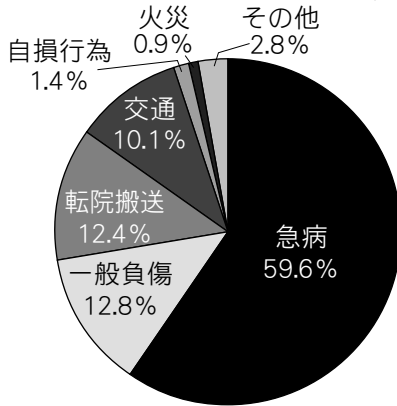
また、南部町への出動件数は299件(前年比7.4%減)で西部広域に占める割合は3.5%です。



平成20年 傷病程度別搬送状況



平成20年 事故種別救急出動状況



救急車はタクシーではありません

救急車は、ケガや急病などで救急に病院に搬送しなければならぬ傷病者のためのものです。

救急でないのに救急車を要請すると、本当に救急車を必要とする急病や事故が発生した場合、遠くの救急車が出動することになり、到着が遅れることで救える命が救えなくなるおそれがあります。

風邪やかすり傷程度で救急車を呼んだり、急を要する病気ではないのに、「どこの病院に行けばよいか分からない」、「救急車で病院に行つたほうが優先的に診てもらえる」、「交通手段が無かった」などの理由で救急車を呼ぶことで、本当に救急車を必要としている人が利用できない状況もでてきます。救急性がなく自分で病院に行ける場合は、自家用車やタクシーなど救急車以外の交通機関のご利用をお願いします。

本当に救急の場合は救急車を

救急車で搬送されることをご近所に知られたくないと思われ、重症なのに救急車を呼ばれない方もおられます。救急車以外に搬送の手段がなく、傷病者の様子や事故の状況などから、緊急に病院へ搬送したほうがよいと思われるときは、迷わず119番通報してください。



【こんなときに利用してください】

- ・ 突然倒れ、意識や呼吸がない
- ・ 激しい頭痛や腹痛、胸痛がある
- ・ 頭を打ち、意識が朦朧とする
- ・ 怪我をして激しい出血がある
- ・ 普段と様子が違う

救急車を本当に必要とする人のために、町民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。